

寅さん歩 その23

東京の博物館めぐりー26

港区ー1

平野 武宏



今回は港区の博物館めぐりです。写真右上は白金台ゆかしの杜です。

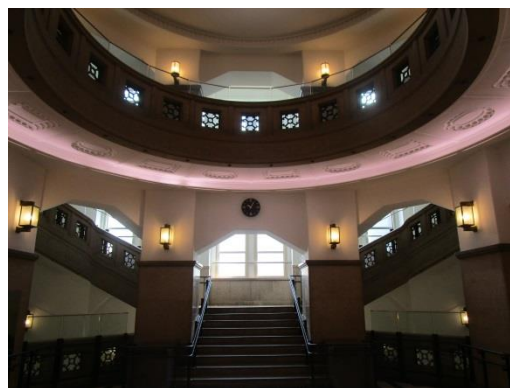
区内に多くある博物館(記念館・資料館・展示館等を総称します)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。

バーチャルウォーク「中山道六十九次」の途中経過も報告します。

〔港区立郷土歴史館〕 港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内

最寄駅 南北線・三田線 白金台駅2番

寅次郎、三田にあった「港歴史資料館」が移設したとのことで、初めての訪問です。駅から地上に上がり右に行くとすぐ右にあります。建物(写真下左)は1938年(昭和13年)に竣工した「旧公衆衛生院」(設計は内田祥三)で建築当初の姿が保存され使われていました。耐震補強やバリアフリー化などの改修工事を実施し、郷土歴史館やがん在宅緩和ケア支援センター、子育てひろばなどの区複合施設です。緑豊かな白金台に開設された港区の「ゆかしい」施設なので全体の呼称を「ゆかしの杜」としています。「ゆかし」は「ゆかしい」の古語で、その語意は「心がひかれ、そこに行きたいと思う」とのこと。写真下右は建物内の中央エントランスです。



郷土歴史館に入るには2階総合案内でチケット(常設展一般 300 円、小・中・高校生 100 円)を買い、中央エントランスから3階に上がります。3階は東京湾と深くかかわる港区の歴史の展示、江戸の城南に位置する港区のまちづくりと文化の広がり展示、4階は港区の近現代の歴史とくらしの展示です。歴史的建造物を活用しているため「中央エントランス」、「旧講堂」(写真下左)、「旧院長室」(写真下右)は無料見学スペースとなっています。開館は9時～17時(土曜日のみ18時まで)。休館日は毎週第3木曜日(休日の場合は前日の水曜日)、12月29日～1月3日、特別整理日です。

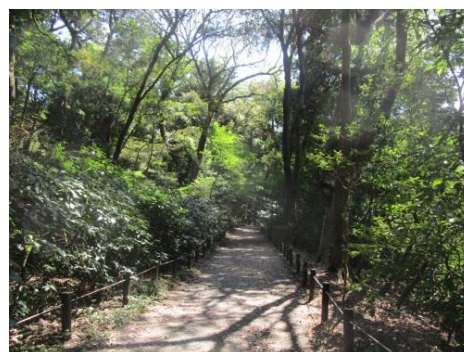


〔国立科学博物館附属自然教育園〕 港区白金台5-21-5

最寄駅 南北線・三田線 白金台駅1番

地上に出て目黒通りを左方向(JR目黒駅方面)に行くと右手にあります。

「自然教育園」は古代には武蔵野の原始林、室町時代は白金長者と呼ばれる豪族の館、江戸時代には高松藩主 松平讃岐守の下屋敷、明治時代は陸軍省の火薬庫、大正時代は白金御料地と移り変わり、1949年(昭和24年)国の「天然記念物及び史跡」に指定されるとともに、「国立自然教育園」として一般に公開されるようになりました。大都会“東京”の中心部にあって、今なお豊かな生物相をとどめている貴重な森です。正面入り口(写真下)で入園料320円(65歳以上、高校生以下は無料)を払います。寅次郎はもちろん無料です。



約 6 万坪の園内は路傍植物園、武蔵野植物園、水生植物園に分けられ、武蔵野を代表する四季折々の植物がそれぞれの生育に適した場所で観察できます。

又、白金長者が土塁を築き、その上に植えた「シイノ木」(写真下左) や江戸時代の大名下屋敷の面影を伝える「松の巨木」(写真下右) は見ごたえがあります。



開園は 5 月 1 日～8 月 31 日は 9 時～17 時、9 月 1 日～4 月 30 日は 9 時～16 時 30 分。休園日は毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)、祝日の翌日 (但し、土・日の場合は開園)、12 月 28 日～1 月 4 日。お弁当持参で自然を楽しむ場所です。

【味の素食の文化センター】 港区高輪 3-13-65

最寄駅 浅草線 高輪台駅

地上に出て右折し、グランドプリンスホテル高輪方面に向かい、左折すると右手にある「味の素グループ高輪研修センター」(写真下左) 内にあります。

味の素の文化センターは「食」情報の収集・公開並びに研究助成を通じて、食文化分野の発展を目指し 1980 年味の素本社 (京橋) に設立されました。2004 年 (平成 16 年) 高輪に移転しています。公開施設として 1 階は食のライブラリーで食専門図書館 (写真下右) です。



2 階は食文化展示室で常設展は「日本の食文化」で (写真下左)、「江戸時代の食文化」では当時の握り寿司の展示 (写真下右) がありました。

現在よりも少し大き目と説明があります。寅さん歩 17 東京発祥之地めぐり (グルメ編-1)をご参照ください。



左手は「食とくらしのちいさな博物館」入口(写真下左)です。

「味の素」誕生物語の映像を見て、味の素グループ 100 年の歴史をたどる展示、時代を象徴する食卓風景 (1900 年～) を立体的に再現しています。(写真下) 寅次郎の子供の頃の懐かしい食卓もありました。さらに味の素グループの企業活動の原点となった食品・アミノ酸地業を中心とした研究開発、安全、安心への取り組み、企業活動などを紹介しています。寅次郎の他の来訪者には女性の姿が見られました。



順路
→



↓ 順路



← 順路



〔物流博物館〕 港区高輪 4-7-15

最寄駅 浅草線 高輪台駅

地上に出て右折、グランドプリンスホテル高輪方面に向かい、右折(味の素グループ研修センターの反対)すると、「カトリック高輪教会」の先にあります。
「物流博物館」入口(写真下左)、中に入るとマスコットのカーゴ君(写真下右)のお出迎えです。



1958年(平成10年)に日本通運本社内に設立された「通運史料室」をその前身として、わが国初の物流専門館として1998年(平成10年)に開館しています。物流の世界における歴史や現代に関するいろいろな展示を通して、物流の役割を広く一般に紹介するとともに、特に次世代を担う子供たちにも楽しく物流に関心を持ってもらうことを目的にしているとのこと。

1階は物流の歴史展示室で江戸時代から昭和までの物流の歩みを紹介。天秤棒や米俵などを担ぐ体験も出来ます。



B1階は現代の物流展示室の入口です(写真下左)。ここでは現代物流の流れを知り、その要所である空港、港、鉄道、トラック等の各ターミナルのジオラマ模型(写真下右)や、物流に関する映像、クイズ、ゲームなどを通じて暮らしと産業に欠かせない物流の仕組みをわかりやすく紹介しています。

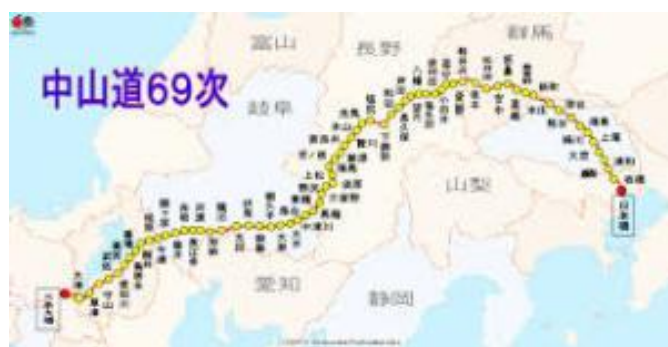
寅次郎の後に入館した学生二人組はゲーム機に直行していました。密になるの

で寅次郎は近づきませんでした。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成のバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道六十九次」に挑戦です。7月7日、日本橋を出立しました。10月2日現在、日本橋から42番目の妻籠縮に到着しました。現在の長野県木曾郡南木曾町に位置し、古い町並みが保存されている宿場町で隣の馬籠宿と共に木曾路を代表する観光名所です。寅次郎、2001年開催の第15回飯田ツーデーマーチ記念大会第2日目で歩きました。



自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！
ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、熱中症にもご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐり-27 です。

平野 寅次郎 拜